



令和7年度 第2回学校評価結果について

第2回学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。今回は、『確かな学力』、『豊かな心』、『健やかな体』に関する質問と『情報発信』に関する質問を「学校評価保護者アンケート」として冬休み後に実施いたしました。2学期は運動会やさがミュージックフェスティバルなどの学校行事も多くあり、子どもたちがいきいき活動する姿もたくさん見ることができました。今回の結果を受けて、来年度の嵯峨小学校の取組にも生かしていきたいと考えています。たくさんのご回答ありがとうございました。

児童アンケート

	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	
確かな学力	授業中に自分の考えを話したり、書いたりすることができていますか。	45.8%	41.3%	10.8%	2.1%
	ペアやグループで話しあう時には、すすんで話せていますか。	45.3%	42.1%	10.6%	2.1%
	学習の中で、問題の解き方やまとめ方、工夫の仕方などを考えることは楽しいですか。	55.3%	29.8%	11.7%	3.2%
	ノートに学習したことや考えたことをわかりやすく書いていますか。	47.4%	40.6%	9.2%	2.8%
	生活科や総合的な学習の時間に地域の学習をしたり、地域の人と関わって学習したりすることは楽しいですか。	70.1%	23.5%	4.7%	1.7%
	学校で学習することは楽しいですか。	59.7%	30.3%	6.8%	3.2%
	タブレットを使って、考えたり、調べたり、まとめたりすることは楽しいですか。	80.9%	15.1%	2.8%	1.1%
	夢や目標をもって学習できていますか。	54.9%	34.7%	8.3%	2.1%
	先生や友だちの話をしっかり聞くことができますか。	63.7%	32.3%	3.6%	0.4%
	むずかしいことにも、がんばって挑戦していますか。	63.4%	29.6%	5.3%	1.7%
豊かな心	宿題や自主的な学習を毎日、計画的にできていますか。	49.6%	35.7%	10.9%	3.8%
	安心して、楽しく登校することができますか。	66.0%	26.0%	5.3%	2.6%
	学校行事や学級活動、委員会活動などで、積極的に意見を言ったり、活動したりできていますか。	46.6%	38.1%	12.3%	3.0%
	みんなと協力して、いろいろなことに取り組んでいますか。	67.9%	26.8%	4.3%	0.9%
健やかな体	学校や家で、自分からすすんで気持ちのよいあいさつや返事をしていますか。	61.1%	29.6%	8.3%	0.9%
	どんな人にも、ひどい言葉づかいをしないように気を付けていますか。	64.4%	30.1%	4.7%	0.8%
	人をいじめたり、仲間はずれにしたりしないように気を付けていますか。	83.9%	14.4%	1.1%	0.6%
情報発信	学校や家での「きまり」を守っていますか。	54.8%	41.2%	3.4%	0.6%
	学校や家で、安全に気を付けて行動していますか。	71.6%	23.9%	3.8%	0.8%
情報発信	自分や友だちの心や体の健康を守る行動ができていますか。	73.5%	24.8%	1.1%	0.6%
	学校で配られた手紙やプリントをきちんとお家の人に見せていますか。	55.5%	30.1%	12.1%	2.3%

保護者アンケート

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	思わない	
確かな学力	学校での学習は楽しそうですか。	43.0%	43.0%	12.0%	2.0%
	自分の考えを話したり、書いたりすることができていますか。	33.0%	45.0%	20.0%	3.0%
	学習や興味のあることについてわかるまで調べたり、考えたり、練習したりしていますか。	20.0%	46.0%	27.0%	7.0%
	学習したことを分かりやすくノートに書くことができていますか。	24.0%	44.0%	26.0%	6.0%
	人の話をしっかり聞いて理解できていますか。	30.0%	46.0%	22.0%	2.0%
	進んで宿題に取り組んでいますか。	37.0%	39.0%	18.0%	7.0%
	予定や持ち物の確認をすることができますか。	42.0%	36.0%	19.0%	4.0%
	難しいことにも失敗をおそれずに最後まで挑戦しようとしていますか。	21.0%	51.0%	22.0%	7.0%
	夢や目標をもって活動できていると思われるですか。	25.0%	49.0%	23.0%	3.0%
	豊かな心	安心して、楽しく登校することができますか。	57.0%	31.0%	10.0%
学校行事や学級活動、児童会活動などを通して友だちとの関わりを楽しんでいますか。		54.0%	36.0%	7.0%	3.0%
友だちや周りの人と協力できていますか。		52.0%	37.0%	9.0%	3.0%
健やかな体	場に応じた気持ちのよいあいさつや返事ができていますか。	30.0%	52.0%	16.0%	3.0%
	言葉づかいに気を付けていますか。	31.0%	47.0%	18.0%	4.0%
	学校のきまりや社会のルールを守れていますか。	61.0%	32.0%	6.0%	1.0%
	学校や家で、安全に気を付けて行動していますか。	56.0%	36.0%	7.0%	1.0%
情報発信	自分や友だちの心や体の健康を守る行動ができていますか。	49.0%	42.0%	7.0%	2.0%
	学校だより、学級だより、学校ホームページ等を通じて、学校・担任からのメッセージや学校の様子がよく分かりますか。	31.0%	50.0%	17.0%	2.0%
	京都嵯峨学園の名称について、知っていただいていますか。	55.0%	33.0%	8.0%	4.0%
	京都嵯峨学園は、小中の連携した教育活動として取り組んでいますか。	30.0%	49.0%	18.0%	3.0%
京都嵯峨学園の教育活動について、情報提供ができていますか。	30.0%	46.0%	20.0%	4.0%	

## 【アンケート結果より】

第1回学校評価アンケートでは、保護者の方からの回答が少なく、児童アンケートの回答と比べる考察をすることができませんでした。今回は、保護者の方にアンケートに回答していただけるようにアンケート時期を冬の個人懇談会と重なるようにし、担任からもご協力の声かけをさせていただきました。また、回答期間も長く設定しました。しかし、保護者の方の回答数が大きく伸びるまでには至りませんでした。学校評価アンケートは、子どもたちがいきいきと成長していけるよう、学校・家庭・地域の皆様と連携協力して、取組を改善することを目的に学校教育法に基づき行っています。以下に結果から考える今後の取組について書いていますので、読んでいただき、来年度のアンケートの際に回答していただくと大変有難いです。どうぞよろしくお願いいたします。

**確かな学力** **豊かな心** **健やかな体** **情報発信** に分けて考察し、今後に向けた取組について書いています。

### 確かな学力について

#### ～学校～

- ・児童が主体的に学習に取り組めるように、教職員が研修を通して研鑽を積み、学校・学年・学級でよりよい学習・授業を目指す。
- ・教材研究をしっかりと行い、単元・題材の授業のデザインを考え、子どもたちの探究する力（自ら課題を発見し、解決に導いていく能力）を育成する。
- ・学習の見取りをしっかりと行い、児童が行っている学習にどのような価値があるのかを認め、児童自身にもその意味に気付かせるようにする。さらに、児童が学びの見通しをもって、粘り強く取り組める学習場面の設定を工夫する。
- ・生活科や総合な学習の時間における嵯峨小学校独自のカリキュラムを実践した結果の見直し振り返りを行い、次年度の生活科・総合的な学習の時間がより効果的になるようカリキュラムを再作成する。

#### ～ご家庭～

お子さんの学校での学習の様子を知っていただくためにも、ノートや宿題、持ち帰った成果物などを見たり、内容についてお話ししたりしていただく。

お子さんのお家での様子を見守っていただき、つまずきがあれば、学校・担任と連携して解決していけるようにしていただく。

#### ～地域～

※今年度の生活科や総合的な学習の時間に関わる学習について教員にご意見をいただく。また、次年度もゲストティーチャーとして来ていただいたり、地域の人・もの・場所などについてアドバイスをいただいたりする。

※今年度の学校の取組内容や教職員、児童の様子についてご意見をいただく。

### 豊かな心について

#### ～学校～

- ・児童が安心して学校に登校できるよう、学級担任はじめすべての教職員で児童の様子を見守る。また、児童や保護者の皆さんが相談しやすい環境を整え、一人一人を大切に、話を聞き、対応する。
- ・学校行事や学級活動、委員会活動で児童が活躍できる場を作り、児童の思いや考えが反映された活動になるように今年度の成果や課題を検証し、次年度にいかす。
- ・「3つのあ」（あいさつ・ありがとう・あとかたづけ）の大切さや気持ちよさを子どもたちに伝え、広がるようにしていくと共に、教職員が率先して「3つのあ」を励行する。
- ・学校全体、学年、学級で1年間の児童の頑張りや成長を振り返る取組を行い、一人一人の児童が次年度に向けて前向きな気持ちで進めるようにする。

#### ～ご家庭～

お家でもあいさつや言葉遣いを大切にしてください。また、学校に来られた際には、学校の児童ともあいさつをしていただいたり、児童のあいさつの様子を見ていただき褒めていただいたりなど嵯峨小学校の児童のあいさつの様子に関心をもっていただく。

#### ～地域～

※地域での児童の様子を見守っていただき、あいさつや会話など交流していただく。児童の様子で気になることがあった場合は、学校と地域が連携して見守っていく。

※地域の子ども会や各団体のイベント時には、子どもたちの様子を見守っていただき、子どもたちの良いところやがんばりなどを誉めていただく。

### 健やかな体について

#### ～学校～

- ・学校のきまりがどうしてあるのか、きまりを守ることはどういうことなのかを子どもたちと話し合い、日常の中で確認していく。
- ・自分や友だちの心や体の健康を守る行動ができていない時は、具体的に児童に説明したり考えたりできるように指導していく。また、その後の児童の様子を見守り、児童の言動について一緒に振り返るようにする。
- ・給食時間にマナーや栄養、食文化の指導をすることはもちろん、子どもたちがおいしく楽しく食べられるように工夫する。

#### ～ご家庭～

SNSやゲーム等を利用する場合は、安全に利用できるよう、ご家庭でルールを決めていただき、SNSによるトラブルに気を付けていただく。

郊外での安全な過ごし方、自転車の正しい乗り方について、お子さんが守れるようにしていただく。

#### ～地域～

※集団登校や下校時などに見守りしていただきながら、地域での安全箇所や児童の登下校の様子等を学校と連携して確認し、安全面で不安のある場合は、解決していけるようにする。



## 学校評価とは

学校評価は、子どもたちがより良い教育を享受できるよう、その教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取組です。学校評価については、学校教育法に規定されているものです。

学校評価を行う目的は以下のように明記されております。

【学校評価は、以下の3つを目的として実施するものである】

- 各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ること。
- 各学校が、自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めること。
- 各学校の設置者等が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることに  
より、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図ること。

(文部科学省 学校評価ガイドラインより抜粋)

学校評価は、結果をお知らせし、学校・家庭・地域が連携し、よりよい教育をともに進めていくためのものです。

## 学校評価により期待される取組と評価

- ・学校評価の結果を踏まえ、各学校が自らその改善に取り組むだけでなく、その報告や公表等を行うことによって、学校の全ての関係者と課題を共有することができ、さらに保護者や設置者等に支援を求めることができるようになるとともに、学校・家庭・地域それぞれの教育力が高められていくことが期待される。
- ・学校評価の取組を通じて、学校として組織的に、今、重点的に取り組むべきことは何かを把握し、学校全体として教育活動の充実・改善に取り組むようになることが期待される。

(文部科学省 学校評価ガイドラインより抜粋)

## 学校評価を生かした「確かな学力」についての実践一部

嵯峨小学校の今年度（令和7年度）の学校教育目標は「心豊かにたくましく、自ら学びに向かう子～I・相・あい で、キラキラ笑顔～」でした。また、児童に付けたい力を「探究する力」とし、**確かな学力** **豊かな心** **健やかな体** についての取組を進めてきました。実践として効果のあったものやまだまだ課題であると感じているものもあります。その一部を紹介させていただきます。



### ① 【生活科・総合的な学習の時間の充実】

生活科・総合的な学習の時間の学習内容を見直し、地域の人・もの・場所・行事等を生かした学習を行っています。ここ数年、カリキュラムの見直しから始まり、地域教材の発掘、地域の方との交流の打合せなどを行ったことで、嵯峨小学校の児童が興味関心をもって自分事として取り組めるようになってきました。さらに今年度は、地域の方との交流が増え、児童がより深く自分の調べたいことや追究したいことを突き詰めて考えることができました。

### ② 【問いをもち、自ら課題を解決する力の育成】

学習の中では「自分の問い」をもつことを大事にした授業を展開してきました。生活科や・総合的な学習でも児童一人一人が「なぜ。」「どうして。」「こうしたらどうなるかな。」などテーマに対して自分なりの問いをもち、問いを解決するための方法を自分で考え、取り組んでいました。さらに、他教科でも、自分なりに問いをもって答えを見つけていく学習スタイルに取り組んできました。

探究的な学びは、予測困難で変化の激しい現代社会において、正解のない問いに立ち向かい、自ら課題を見つけて解決する力（思考力・判断力・表現力）を養うために必要です。一方的な知識の暗記ではなく、主体的に学ぶことで、生涯にわたる学習の基盤となる能動的な姿勢と創造性を育むため、重視されています。



(文部科学省 教育課程企画特別部会 資料より)

- 来年から2年生として新1年生にどうしてあげたいかを考えるのが楽しいようです。
  - ➡生活科の学習で、保育園や幼稚園の子どもたちを招いて交流を行っています。1年生なりに「どうやって楽しませてあげようか。」「どんな声かけをしようか。」いろいろ考えて交流会を成功させていました。
- 学習では自分で気を付けるところをまとめたり、テストの見直しをしたりできるようになってきています。
- わからない問題をインターネットやテキストを調べて解こうとするようになりました。
  - ➡自分なりに学習の仕方を見つけ取り組んでいる様子が大変うれしいです。これまでの学習経験を生かして家庭学習に取り組んでいるのだと思います。
- 発表の場で以前よりも積極的になってきています。
- 積極的に挙手し、しっかり自分の意見を発言しているようです。
  - ➡学習に限らず、自分の考えや思いを人に伝えられる力は大切です。学級での発表だけでなく、グループでの話し合い、ノートに書いたりまとめたりすることも学校では大切にしています。
- 苦手な食材にチャレンジするようになりました。
  - ➡給食時には、食材や調理、料理の歴史、和食や外国の調理など様々なことを児童に伝えています。また、担任はもちろん栄養教諭や給食調理員も児童とできるだけ交流をもち、児童の食べている様子を大切にしています。
- 自分の考えをきちんともてるようになってきている。自分と友だちは違う考えだということを事実として捉えられるようになってきている。心の芯が育ってきているように思います。
  - ➡高学年になっていくと自分の考えと友だちの考えの違いに悩んだり、迷ったりすることが増えていくと思います。考え悩んで、「自分はこうだ。」と思えることは心の成長です。学校でも児童からの相談があった場合は、児童の思いや考えを大切に聞いています。
- 通知表の評価の付け方がよくわかりません。
  - ➡学習評価については、学習指導要領（文部科学省）に定める目標に準拠した評価として実施しています。その目標に児童が到達できるよう授業を行うのが教員の役割です。児童が学びの見通しをもって、粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげるという、主体的な学びの過程の実現に向かっていくかという観点から、学習内容に対する子どもたちの関心・意欲・態度等を見取り、評価していきます。また、学習評価を行っていくためには、論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作等といった多様な活動に取り組みさせるパフォーマンス評価を取り入れ、ペーパーテストの結果に留まらない、多面的な評価を行っていくことが必要です。そして、教員には、児童が行っている学習にどのような価値があるのかを認め、児童自身にもその意味に気付かせていくことが求められています。評価する際には、学年（担任・専科含む）で目標に準拠した評価になっているのか、見取りは十分できているのか話し合い時間をかけて付けています。
- 嵯峨小学校としての方針を評価するのであれば選択肢が少なすぎるのではないかと。自由記入欄が其々の質問にないため無理がある。時としてマイナスの評価も受け入れるべきであると考えます。
  - ➡このアンケートの趣旨として、嵯峨小学校全体の児童の学習の様子や生活の様子の傾向を数値化し、教職員、保護者、地域の方で考察し、①学校として組織的・継続的な改善を図ること ②学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めること ③一定水準の教育の質を保証し、その向上を図ること を目的としています。そのため児童と保護者の質問内容に差が出ないように作成しています。さらに選択肢も児童・保護者とも4つにしています。また、アンケートでは児童の回答にある「できていない」保護者の回答にある「思わない」をマイナスの評価として受け止め、改善に向けた取組について考えています。また、アンケートでの結果が学校に対するご意見のすべてとは考えておりません。その時々で、保護者の方や地域の方から学校に直接ご意見をいただくこともたくさんあります。ご意見を頂いたことで、学校として振り返り、見直し、改善してきたこともあります。学校評価アンケートについては、回答数の減少、項目の見直し、学校・保護者・地域の連携した学校づくりへの資料としての発信など、学校として課題だと考えている部分もあります。児童にとってよい学校づくりができる一つの手段として今後も、アンケートについては見直ししていきます。

### 学校運営協議会による学校関係者評価

3月に学校運営協議会の方より令和7年度第2回学校評価結果についての学校関係者評価をいただきました。今回のご意見をもとに本校の取組を点検し、今後の学校運営に生かしていきたいと考えています。

- 確かな学力
  - ・ゲストティーチャーとして様々な学年に関わらせてもらい、子どもたちのいきいき活動している姿を見ることができました。子どもたちの活動の内容もよく考えられており、感心しました。子どもたちが活動を通してどのようなことに気づき、感じたのかも知りたいと思いました。
  - ・子どもたちにはいろいろな体験をしてほしい。体験することで、「人によりそう力」「説明する力」「あきらめない力」「工夫する力」「継続力」などが身につけてほしい。
- 豊かな心
  - ・子どもたちの登下校の様子を見ていると、学年を超えて話している様子が見られます。とても楽しそうだと感じました。また、高学年は低学年に対してとても優しいと思います。
- 健やかな体
  - ・SNSの問題を報道などでよく聞きます。家庭での見守りと共に、学校で危険性や依存症について教えていくことが必要だと感じます。